

活動紹介

千葉県森林インストラクター会

| | | | |
|------|---------------------------|-------|----|
| 活動分野 | 森に親しむ懇談会(もりこん) 152 | | |
| タイトル | 庭園の見方 楽しみ方 | | |
| 実施日時 | 平成30年4月19日(木) 18:45~20:45 | | |
| 実施場所 | 船橋中央公民館第6、7集会室 | | |
| 受講者 | 5名 | FIC会員 | 5名 |

活動の内容

講師は千葉県森林インストラクター会会員、樹木医の小池さん。

講師は、日本四大植木・苗木の生産地である福岡県久留米市田主丸の内山緑地建設ご出身でその後 FIC の森でおなじみの君津事業所の所長として長年勤めてこられたこととお話しいただいた。その経験などを踏まえ今回はヨーロッパ・日本の庭園について講演していただいた。

1. 気候・風土・国民性の違いが庭園に与える影響

ヨーロッパと日本：
・自然植生 植物の種類が少なく整形の樹形が多い 植物の種類が多く自然樹形が多い(風衝木)
・建物 靴のまま建物に入る、石の文化 靴を脱いで室内に入る、木の文化
・庭園の形式 西洋庭園 整形式 偶数 石の文化、明るく、見通しが良く、整形的で開放的なイメージが強い。家の中に土を持ち込まないように土をなんらかでカバーしている 日本庭園 自然式 奇数 木の文化、自然の縮景として自然式で庭の外側を囲み閉鎖的な空間のイメージが強い。わびさびを重んじて多少土が見えても気にしない。極端に目立つ樹種は使わない。

2. 主な西洋庭園の様式

A. イタリア式庭園

西洋風の庭園の様式のひとつである幾何学式庭園で、テラス式、露段式庭園とも呼ばれる

B. フランス式庭園

ルネッサンス運動は約 1 世紀遅れでフランスにも伝わった。イタリア庭園の影響を受けながら発達してきたフランス造園は、17 世紀半ば頃ル・ノートルが現れて新しい庭園手法として発達した。

C. イギリス式風景式庭園

18 世紀の初めにイギリスに現れた作庭技法の一つで、平面幾何学式と違い曲線を多用し、なだらかな起伏を要し、自然風景のように作庭された。

3. 日本庭園の様式

日本庭園の様式日本庭園は日本式と言う様式的特徴を持った庭園である。他の庭園様式イタリア、イギリス式庭園は、ある地方に富が集中して、芸術文化が咲き誇ったある特定の時代に確立されたスタイルがその国名で呼ばれている庭園様式である。日本庭園は古代から、現代まで「日本式庭園」と呼ばれる特徴ある形が作られて来たところに外国と違う。

1. 奈良・平安時代(646~1185) 池泉舟遊式 池泉周遊式
2. 鎌倉・室町・戦国時代(枯山水)(1185~1573) 座観式観賞式
3. 安土桃山時代(茶庭式、露地式)
4. 江戸時代(廻遊式庭園)
5. 近世(自然主義 自然風景式)



イタリア式庭園



フランス式庭園



江戸時代 池泉回遊式庭園